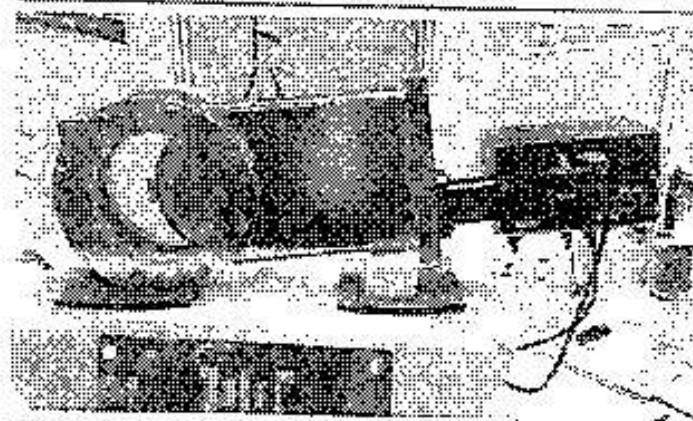


サイエンスプロローブ製品

八光産業、国内初投入

八光産業（東京都港区、篠田光一社長、03・3456・2577）は、韓国



サイエンスプロローブ（華城）製の丸型ゲートバルブ（写真）を発売した。サイエンスプロローブ製品を国内市場に投入するのは初めてという。消費税抜きの価格は3万〜20万円で、主に研究開発分野での導入を見込む。2019年に30台の受注を目指す。

真空用や流体通路孔径を3段階で調節し、流量を自動調整できる

全6種類を用意。研究開発向けの実験装置や半導体製造装置の真空チャンバーを開閉するバルブとして使用する。フランジの内径は1・5〜22寸。日本工業規格（JIS）や国際標準化機構（ISO）などの規格に準拠。

国産の丸型ゲートバルブは特注品が多く、長くて半年ほどかかる納期を1〜2カ月ほどに短縮できるという。

2018年12月19日(水)
日刊工業新聞 掲載